

問題

A

Elementary Level

I _____ に ^{はい} 入る ^{いち} ーばん てきとうな ものを A~Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{らいねん} らいねん ^{にほん} 日本 _____ いきます。

A が B へ C を D で

- あした、^{くじ} 九時 _____ ^き 来て ください。
A で B まで C までに D より
- 会社を ^{やす} 休む ときは、_____ ^{れんらくして} ください。
A かならず B さっき C ほとんど D やっと
- 山田さんは、いくら _____ ^{ふと} 太りません。
A ^た 食べたら B ^た 食べても C ^た 食べると D ^た 食べるのに
- この まちは、とても _____ ^{にぎやか} ですか。
A ^{おお} 大きいて B ^{おお} 大きいで C ^{おお} 大きくて D ^{おお} 大きくと
- 日本に ^く 来るとき、ともだちが わたしに ^{ほん} 本を _____。
A あげました B くれました C もらいました D やりました
- あの ナイフは、パンを _____ ^{つか} います。
A ^き 切るのが B ^き 切るのに C ^き 切るのは D ^き 切るのを
- いつも あの ^{ひと} 人の ^{なまえ} 名前の ^{かんじ} かんじを _____。
A わすれてあります B わすれてきます
C わすれてしまいます D わすれてやります
- すみませんが、この ^て 手がみを _____ ^い に 入れて ^き 来て ください。
A バス B プール C ボール D ポスト

9 この _____ は、とても ^{やす}安いので ^{さん}三さつ ^か買おうと おもいます。
A けしゴム B ネクタイ C ノート D ハンカチ

10 ^{やまな}山田さんは、あそこの _____ を ^{ひと}かけている 人です。
A めがね B ゆびわ C さいふ D ぼうし

II _____ と ^{いち}一ばん ^{かんけい}かんけいがある ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) ^{れい} けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
- B きょうの ゆうがた
- C きのうの あさ
- D きのうの ゆうがた

1 おとし ^{とうきょう}東京に ^い行きました。

- A ^{ふつかまえ}二日前 B ^{にねんまえ}二年前 C ^{にしゅうかんまえ}二週間前 D ^{にげつまえ}二か月前

2 わたしは、フルーツが ^{だい}大すきです。

- A おさけ B おかし C くだもの D さとう

3 おちゃを わかして ください。

- A つめたくします B すずしくします
- C おそくします D あつくします

4 この ^{さんにん}三人の ^{なか}なかでは ^{やまだ}山田さんが ^{いちばん}いちばん わかいです。

- A としが したです B せが たかいです
- C かみが ながいです D あたまが いいです

5 きのう、へやを ^{すこ}少し かたづけました。

- A ちっとも B ちいさい C ちょっと D ちょうど

- 6 その話を聞いて、ほっと しました。
- A れんらくしました B しんぱいしました
C えんりょしました D あんしんしました
- 7 このペンは、書きやすいです。
- A よく 書けます B やすかったです
C たかくないです D ぜんぜん 書けません
- 8 そのドアは、きのうから ずっと かぎが かかっています。
- A とまっています B しまっています
C こわれています D あいています
- 9 山田さんは、やさいしか たべません。
- A やさいだけ 食べます B やさいを 食べたことはありません
C やさいが きらいです D ときどき やさいを 食べます
- 10 飲みものは いかがですか。
- A 飲みものが ありますか B なにか 飲みませんか
C どこで 飲みますか D この飲みものは いくらですか

Ⅲ _____ に はい 入る いち ばん てきとうな ものを A~Dの なか から ひとつ えらびなさい。

- 1 子ども：「_____。」
母親：「やっと かえ 帰ってきたの？ おそ 遅かったわね。」
- A おかえり B き 来ました C ただいま D まいりました

2 ダンさん：「かぶきの チケット ^に二まい もらったんで、いっしょに
行いきませんか。」

リーさん：「いいですねえ。それは いつですか。」

タンさん：「らいしゅうの ^と土ようび、ごご ^ご五時からです。」

リーさん：「_____、その日ひは ^{くに}国から ^くともだちが ^く来るんです。」

タンさん：「あ、そうですか。じゃあ、ほかの ^{ひと}人に ^き聞いて みます。」

A ざんねんですが

B しつれいですが

C ちょっと うかがいますが

D よろしいですが

3 ^{すずき}鈴木さん：「どうしましたか。」

^{たなか}田中さん：「あのう、^{わたし}私の としょかんカードが ないんです。」

^{すずき}鈴木さん：「それは たいへんですね。_____。」

^{たなか}田中さん：「すみません。それじゃあ、そっちの ほうを さがして ください。」

A てっだってください

B てっだってもいいですか

C てっだいましょうよ

D てっだいましょうか

4 ^{きゃく}客：「いろんな カードが あるんですね。」

^{てんいん}店員：「どなたに おくりますか。」

^{きゃく}客：「かいがいに いる ^{ともだち}ともだちです。」

^{てんいん}店員：「じゃあ、あたらしい デザインの カードは _____。こちらに
あります。」

A どうしますか

B どうですか

C どこですか

D よろしいですか

- 5 先生： 「来週^{らいしゅう}の じゅぎょうは だれが はっぴょうしますか。」
タンさん：「ええと、つぎは 私^{わたし}ですが、来週^{らいしゅう}は 国^{くに}の ともだちが 日本^{にほん}に
くるので、ほかの だれか かわってくれないか。」
ヤンさん：「それじゃ 私^{わたし}が はっぴょうします。」
タンさん：「ほんとうに _____。ありがとうございます。」

- A なにがよろしいですか B これでいいですか
C かまいませんよ D いいんですか

IV ①～⑧の 漢字^{かんじ}の 読み方^{よみかた}を ひらがなで 書きなさい。また、(1)～(7)の
_____の ひらがなを 漢字^{かんじ}で 書きなさい。

① 肉 の色が ② 赤い ので、もっと よく やいてください。

ここで 手と ③ 足 を ④ 洗い ましょう。

近くの ⑤ 銀行 に行って、⑥ お金 を おろして来ます。

今日は ⑦ 四月 の ⑧ 六日 です。

(1) あき に なると、気温が (2) ひく く なります。

(3) とり が 小さな (4) さかな を 食べています。

(5) あめ が ふって、川の (6) みず が ふえています。

いっしょに (7) ひる ごはんを 食べませんか。

V 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から一つ選びなさい。

(1) 私は日本の大学の三年生です。私は八年ぐらい日本語を勉強しているので、日本語は得意です。将来は通訳者になりたいので、通訳の学校にも行きたいと思っています。それで、来年、大学に通いながら通訳の学校に行くか、大学を卒業してから通訳の学校に行くか、どちらがいいかを考えているところです。四年生になったら、卒業論文も書かなければなりませんから、どちらにしても、来年はとても忙しくなりそうです。

と 問い1 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 私は今、卒業論文を書いています。
- B 私は今、通訳の学校に行っています。
- C 私は今、日本の大学に通っています。
- D 私は今、大学に通いながら、通訳の学校に行っています。

(2) 病気の名前を間違えたり、病気を治せなかったりする医者は「やぶ医者」と呼ばれることがあります。昔、「やぶ」という場所に、どんな病気も治せる有名な医者がいました。やがて、「私は、あの有名な「やぶ」の医者から、病気の治し方を習った」と話す医者が増えていきました。しかし、それはうそで、そのように話す医者のほとんどが下手な医者だったので、「やぶ医者」は、医者への悪口として使われるようになったのです。

と 問い2 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 今、いい医者は「やぶ医者」とは呼ばれません。
- B 昔、「やぶ」というところに医者は一人もいませんでした。
- C 昔、「やぶ」にいた有名な医者は、よく悪口を言われました。
- D 今、「やぶ医者」と言ったら、それはどんな病気も治せるいい医者を指します。

(3) 昔、今のような時計がなかった頃、どうやって人々は時間を知っていたのでしょうか。有名なものは、日時計です。日時計は太陽の位置が変わるのを利用して、影がどこにできるかで時間が分かる時計です。その他に、猫の目を見て時間を知る方法もあったそうです。猫は光の明るさで目の大きさが変わるので、その特徴を使って、時計のかわりにしていたのです。しかし、猫の目の大きさが変わるのは光の明るさだけではなく、実は猫の気持ちによっても変わってしまうため、今では猫の目を見て時間を知ろうという人はいなくなりました。

と
問い3 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 太陽の位置によって、猫の気持ちが変わります。
- B 猫の目の大きさは、光の明るさによってのみ変わります。
- C 日時計は、影の位置でだいたいの時間を知ることができます。
- D 猫の目の大きさと時間を知る方法は、今でもよく利用されています。

(4) 日本では、いろいろなところで人が列に並んでいるのを見ます。しかし、あるアンケートによると、84%の人は並ぶことが嫌いだそうです。しかし、質問に答えた人のほとんどは、何かを買うために、並んだことがあるそうです。では、どうして並ぼうと思うのでしょうか。理由はいろいろありますが、その一つは「みんなが並んで買うものなら、いいものだろう」と考えるからです。みんなが長い時間並んででもほしいものは、それだけいいものに違いない、というわけです。

と
問い4 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 人がたくさん並んでいるお店のものは、必ずいいものです。
- B 並ぶことが嫌いな人は、今まで一度も並んだことはありません。
- C 日本人は並ぶことが好きなので、いろいろなところで並んでいます。
- D 列に並ぶ人は、他の人がわざわざ並んで買うものだからいい物だと思えます。

(5) みなさんはふつう何をしに駅に行くでしょうか。もちろん電車に乗るために駅に行くわけですが、最近^{さいきん}は他の目的^{ほか もくてき}で駅に行く人^{えき い ひと}が増えているそうです。それは、駅の中^{なか}においしい食べ物^{た べ 物}の店^{みせ}や、おしゃれな服^{ふく}やくつを売^うっている店^{みせ}があるからです。仕事^{しごと}の帰り^{かえ}に、途中^{とちゆう}の駅^{えき}で降り^おて買^かい物^{もの}をして、また電車^{でんしゃ}に乗^のって家^{いえ}に帰^{かえ}るという女性^{じよせい}が多い^{おお}そうです。駅^{えき}は日常生活^{にちじゆうせいかつ}にとって、ますます便利^{べんり}な場所^{ばしょ}へと変化^{へんか}しています。

と 問い5 文の内容^{ぶん ないよう}に合^あっていないものはどれですか。

- A 駅^{えき}の中^{なか}で、服^{ふく}やくつを買^かうことができます。
- B 家^{いえ}に帰^{かえ}る途^と中^{ちゆう}、駅^{えき}で買^かい物^{もの}をする人^{ひと}は女性^{じよせい}だけです。
- C 電車^{でんしゃ}に乗^のる目的^{もくてき}以外^{いがい}で、駅^{えき}に行く人^{い ひと}が増^ふえています。
- D 駅^{えき}の中^{なか}の店^{みせ}は、仕事^{しごと}の帰り^{かえ}に行くことができるので、とても便利^{べんり}です。

問題

B

Intermediate Level

I _____ に入る最も適切なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 今月に入って、寒さも一段_____厳しくなった。
 A で B と C に D も
- 2 両親とよく相談した上_____、来週中にお返事します。
 A が B で C に D は
- 3 景気が良くなく、給料_____だ。
 A 下がりかけ B 下がり次第 C 下がる一方 D 下がるとおり
- 4 先日、先生から頂戴しました和菓子、大変_____ございました。
 A おいしい B おいしくて C おいしに D おいしゅう
- 5 明日の午後、先生の研究室に_____よろしいでしょうか。
 A おいでになっても B お越ししても
 C 伺っても D 拝見しても
- 6 お客様の希望_____、夏の特別セールを行った。
 A にこたえて B に先立って C をこめて D をめぐって
- 7 絵のうまさには_____は、吉田さんは、クラスの誰にも負けない。
 A あたって B かけて C つけて D とって
- 8 何時間も考えたが、いいアイデアは_____。
 A 浮かばなかった B 覚えなかった
 C 仕上がらなかった D 着かなかった
- 9 となりの家の工事は_____進み、予定より一か月も早く完成した。
 A 続々と B 着々と C 点々と D 方々と
- 10 父から_____で、二十万円借りた。
 A 非利子 B 不利子 C 未利子 D 無利子

II _____ とほぼ同じ内容のもの、または、_____ と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選ひらびなさい。

- 1 田中たなかさんは、子どもこのときからの夢ゆめだった、音楽おんがくの道みちに進すすんだ。
 A 学がく力りよく B 仕し事ごと C 通つう路ろ D 仲なか間ま
- 2 家いえをか買かうときの参さん考こうにするために、モじゅうデたくル住み宅いを見みに行いった。
 A 見み本ほん B 特とく売ばい C 構こう造ぞう D 別べつ荘そう
- 3 どうぞおおかかけけにななっててくくだだささい。
 A 心しん配ぱいししないないで B 座すわっって C 止とままららないないで D 横よこにななっって
- 4 この絵えをみるるにつつけ、故こ郷きやうの山やまを思おもいだだす。
 A 見みてて以い来らい B 見みてておおららず C 見みるるだだけけに D 見みるるたたびびに
- 5 面めん接せつの時とき、緊きん張ちやうのああままり、余よ計けいなここととままで答こたええててししままった。
 A ああままり緊きん張ちやうししないないよよううに B ああままり緊きん張ちやうししななかかつつたたのので
 C 緊きん張ちやうししすすぎぎて D 緊きん張ちやうししそそううにななっって
- 6 今日きょうははおお招まねききいいたただだききあありりががととううごござざいいまます。
 A 呼よばばせせて B 呼よばばれれて C 呼よんんででああげげて D 呼よんんででくくれれて
- 7 考かんええぬぬいいたた結けつ果か、今いまの仕し事ごとをつづつつけるるここににしした。
 A 最さい後ごままでで考かんええた B いいちちいいちち考かんええななかかつつた
 C ざざっっとと考かんええた D 全ぜん然ぜん考かんええななかかつつた
- 8 田た中なか先せん生せいの研けん究きゅうを理り解かいするるたためめにには、経けい済ざい学がくはもととよより数すう学がくの知ち識しきも必ひつ要ようだ。
 A いいいいととしして B 言いううままででももななく
 C 知しららなないいままででも D ととももかかくくととしして
- 9 留りゅう学がく先さきをき決とめめるる時とき、親しん友ゆうに相そう談だんにの乗のっっててももららつつた。
 A 決きめめたたああげげくくに B 決きめめたたとところろを
 C 決きめめるるつついいででに D 決きめめるるににああたたっって

- 10 山田^{やまだ}さんは、きのうの朝^{あさ}、日本^{にほん}を^た発^たった。
- A 日本^{にほん}から^{はっこう}発行した B 日本^{にほん}に^た立ち^よ寄った
- C 日本^{にほん}へ^と飛んだ D 日本^{にほん}を^{はな}離れた

Ⅲ _____ に入^{はい}る最^{もっと}も適^{てきとう}当^{とう}なものをA～Dの中^{なか}から一^{ひと}つ選^{えら}びなさい。

- 1 田中^{たなか}さん：「あっ、財布^{さいふ}が_____。」
山本^{やまもと}さん：「ほんとだ。誰^{だれ}の^だらう。」

A 落^おちた B 落^おちて^{ある}ある C 落^おちて^{いる}いる D 落^おち^るる

- 2 山田^{やまだ}さん：「もしもし、山田^{やまだ}です。奥^{おくさま}様^{さま}はご在^{ざい}宅^{たく}で^しょうか。」
田中^{たなか}さん：「ああ、今^{いま}、家^{かない}内^{ない}は_____。」
山田^{やまだ}さん：「分^わかりました。ではまたあ^とで^{でん}電^わ話^わします。」

A いら^っしやい^{ませ}ん B お^りま^すす
C ご^ふざい^{です} D 留^る守^すです

- 3 山本^{やまもと}さん：「私^{わたし}、ゴルフを^した^ことが^なく^て……。」
田中^{たなか}さん：「じゃあまず、僕^{ぼく}が^やる^から^みて^いて^ね。」
山本^{やまもと}さん：「……上^う手^まい！ 私^{わたし}も^やっ^てみ^よう。ええ^っと、こ^うか^な……。」
田中^{たなか}さん：「うん、_____。な^かな^か筋^{すじ}が^いい^ね。」

A あ^あす^れば^いい^よ B こ^うす^れば^いい^よ
C そ^うす^れば^いい^よ D ど^うす^れば^いい^の

4 田中さん：「あ、おはようございます。_____。」

山本さん：「いいえ、またいつでも_____。」

田中さん：「すみません、_____。」

A 明日はお世話になります

B 昨日はどうもありがとうございました

C 今日もいい天気ですね

D 先日は楽しかったですね

5 先輩：「毎日残業しているようだね。少し手伝ってあげようか。」

新入社員：「ありがとうございます。_____。」

先輩：「そうか。あんまり頑張りすぎないようにね。じゃあ、お先に。」

A お気持ちだけで十分です

B 遠慮させていただきます

C よろしく願っています

D 引き受けて頂けますでしょうか

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で書きなさい。

この①卵は、変な②味がする。

③笑い過ぎて、おなかが④痛くなってきた。

先日⑤初めて日本の⑥旅館にとまった。

この人形は、⑦腕が⑧曲がります。

子どものころ、体が(1)よわくて、毎日(2)くすりを飲んでいた。

おとといの(3)ばんに大きな(4)に物が届いた。

幸せな思いにする文章もあるでしょう。世の中を変えるような影響力をもった文章もあります。もっとも、人を怒らせる文章も、悲しませる文章もあります。書かれた「思い」や情報は、「読まれる」ことによって、様々な作用を及ぼすのです。法律も、契約書も、ラブレターも、新聞記事も、小説も、歌詞も、実験報告書も、依頼書も、すべて、「ひとまとまりのものとして書かれたもの」、すなわち文章です。(4) 世の中をその根底において動かしているものは文章である、とさえ言えるのかもしれない。

しかし、文章を書かなければならないのにうまく書けない、というとき、私たちは大変厄介な思いをします。考えはまとまらない。字の書き方もなんだかわからなくなってくる。文はごちゃごちゃになる。なんとか書いたとしても、何が言いたいのかわかってもらえない。馬鹿にされることもある。挙句の果てには、自分の意図を全く誤解して受け取られ、相手も自分も傷ついてしまう。文章を書くことは、厄介なことでもあるのです。

では、どうすればいいのでしょうか。——そこで注目したいのが、「言葉」です。文章を成り立たせているのは日本語。言葉には、文字、語(ボキャブラリー)、文としての組み立て、段落の構成、といったそれなりの仕組みがあります。この仕組みを具体的に知識としてまとめ、また、その原理のようなものを考えることで、文章の基本的な「書き方」を身につけていくことができます。

(森山卓郎『日本語の<書き>方』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1)に入る語はどれですか。

- A 宇宙
- B 日本
- C 未来
- D 昔

問い2 下線部(2) 文章にする ことによって、筆者はどのようになると言っていますか。

- A 「思い」が今生きている人にだけ届く。
- B 「思い」が文字通り「思い」のまま残る。
- C 見えなかった「思い」を形にして残すことができる。
- D 永遠に届かない「思い」を直接耳で聞くことができる。

問い3 下線部(3) 文章を書くということは、まるで奇跡のようなすばらしいことだと思えてきますね とありますが、筆者がそのように考えるのはなぜですか。

- A 文章を書くことによって、さまざまな人が集まってくるから。
- B 文章を書くことによって、情報が正確に伝わると思われるから。
- C 文章を書くことによって、内容が変化してしまう可能性が高いから。
- D 文章を書くことによって、時間や空間を超えて読まれる可能性が生まれるから。

問い4 下線部(4) 世の中をその根底において動かしているものは文章である、とさえ言えるのかもしれませんが、筆者がそのように考える理由として間違っているものはどれですか。

- A 文章は文字として読まれることによってかならず誤解されるから。
- B 文章は文字として読まれることによって書いた人の思いが伝わるから。
- C 文章は文字として読まれることによってその文章の持っている力が働くから。
- D 文章は文字として読まれることによって時には人を幸福にすることもあるから。

問い5 文章がうまく書けないとき、筆者はどのようにすればいいと言っていますか。

- A まずは言葉に注目すべきである。
- B まずは読者に注目すべきである。
- C まずは内容に注目すべきである。
- D まずは聞き方に注目すべきである。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る最も適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- それを_____最後、二人の信頼関係は終わってしまうだろう。
A 言うのに B 言うものの C 言ったが D 言っても
- 明日のスポーツ大会は、百メートル走を_____スタートする。
A 皮切って B 皮切りに C 皮切れて D 皮切れで
- 二日も寝ずに勉強ばかりしていると、さすがに_____する。
A ひらひら B びらびら C ふらふら D ぶらぶら
- この映画を見ると、日本に留学していた時の思い出が_____。
A かえりみる B さかのぼる C ふりかえる D よみがえる
- あの学校のサッカーチームは、初心者ばかりだから、_____たりないよ。
A 恐れ B 恐れて C 恐れるに D 恐れるも
- びんのふたは、_____しめておかないと、中身がこぼれますよ。
A きっちり B くっきり C しっくり D はっきり
- こんな暑い日に外出したものだから、すっかり汗_____になってしまった。
A がち B ずくめ C ながら D まみれ
- _____感覚で「達成する楽しみ」を感じられる学習管理アプリです！
A ゲーム B パート C ブーム D ムード
- こんなひどい計画じゃ、お先_____だよ。
A 真っ暗 B 真っ黒 C 真っ青 D 真っ白
- 火山の噴火によって、周辺住民は避難を_____された。
A 遺憾なく B 遠慮なく C 甲斐なく D 余儀なく

II _____ とほぼ同じ内容のもの、または、_____ と最も関係のあるものをA～D
の中から一つ選びなさい。

- 1 まるっきり親におんぶにだっこじゃ、まだ大人とは言えないね。
A いまだに B すべて C そもそも D まんざら

- 2 祖母は、もう高齢なので、何でも聞いたそばから忘れてしまう。
A 聞いたかたわら B 聞いてすぐに
C 聞きつつ D 聞くにおよんで

- 3 新品の洋服にワインをこぼしたのだから、弁償しないではすまないだろう。
A 弁償しないから B 弁償しないとしても
C 弁償せずとも D 弁償せずには

- 4 世界の平和が訪れることを願ってやまない。
A 願い続けている B 願うのをやめたい
C 願ってもかなわない D 願ってもやめられない

- 5 窓の外を見るともなく見ていたら、自動車とバイクの衝突事故が起こった。
A 一所懸命見ていたら B なんとなく見ていたら
C 見た方がいいので見ていたら D 見ない方がいいのに見ていたら

- 6 彼は、自分こそチーム最強の選手だと断言してはばからない。
A 期待通りに断言する B 自信なさげに断言する
C 嘘だとわかりつつ断言する D 遠慮しないで断言する

- 7 父は、朝食もそこそこに会社へ向かった。
A 朝食にこだわって B 朝食をしっかりとって
C 朝食を十分食べないで D 朝食を全く食べないで

- 8 会社ぐるみの巨額不正に調査のメスが入った。
A 会社全体での B 架空の会社の
C 他社を巻き込んだ D 倒産した会社の

9 私の場合、コツをつかむまでにちょっと時間がかかりました。

- A 概要に着目する B 要点に執着する
C 要約をやり遂げる D 要領を飲み込む

10 私の部屋には、エアコンはおろか扇風機すらない。

- A エアコンしかない B エアコンと扇風機しかない
C エアコンも扇風機もない D 扇風機しかない

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 司会者：「本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから国際交流パーティー_____。」

- A が始まっております B が始まりました
C を始めさせていただきました D を始めたいと思います

2 客： 「マスター、_____お願い。」

マスター：「コーヒーをブラックで。少し薄めですね。」

客： 「あっ、ごめん。やっぱり今日はちょっとだけ濃くしといて。」

マスター：「かしこまりました。」

- A いつもの B おすすめの C たったの D ちょっと

3 山田さん：「いかがでしょう、この提案は。」

田中さん：「あなたの仰ることは_____ですが、いくつか問題がありますね。」

- A 分かったことがない B 分からなくもない
C 分かりたくもない D 分かるわけがない

- 4 山田さん：「明日は海ね。楽しみだわ。」
田中さん：「あ、そのことなんだけどさ、急に仕事が入っちゃったんだ。」
山田さん：「え？ 仕事なんて断ってよ。明日は海に行くって_____。」
田中さん：「そんなことできないよ。大事な仕事なんだから。」
- A 言ったじゃない B 言ったわけじゃない
C 言ったんだけど D 言ったんだよね
- 5 山本さん：「今度の送別会の場所なんですけど、居酒屋と中華料理店とどちらがいいと思われませんか。」
課長： 「うーん、居酒屋だとちょっと落ち着かないんじゃないか？」
山本さん：「そうですね。_____。」
課長： 「そうか、一長一短だな。まあ、任せるよ。」
- A でも、居酒屋は、そんなにうるさくないですよ
B ただ、中華料理店は個室で落ち着けるんですけど、値段がちょっと高くて……
C ただ、中華料理店は個室があるので落ち着けるとおもいます
D でも、居酒屋は交通の便があまりよくないですし……

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の _____ のひらがなを漢字で書きなさい。

① 保証 期間が一年から三年に ② 延びた。

③ 贈り物なので、商品をきれいに ④ 包装してもらった。

会社が倒産したことで、⑤ 膨大な借金を ⑥ 抱えてしまった。

⑦ 街角に立って ⑧ 募金活動をした。

年を取ると、(1) きん肉がどんどん (2) おとろえる。

突然のことに (3) おどろ きを (4) かく せなかった。

日本の (5) まん 画はさまざまな言語に (6) ほん 訳されている。

顔に日焼け止めのクリームを (7) ぬ った。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものの一つを選びなさい。

ピカソ*の芸術の最大の特徴は、その(1) 破壊的な性向にあります。

よい絵というものはカミソリで切り裂かなくてはいけない、と言いながらキャンパスに向かい、美術雑誌のインタビューなどでも、みずからの作品を「破壊の集積」と評しています。その言葉の通り、ピカソの描く画面には、切り裂かれた人体や破壊された静物の集積を思わせるものがあります。

ちなみに、「破壊こそが創造である」とは、現代美術の世界ではよく聞く理屈です。

しかし、冷静に考えてみれば、これは言葉の使い方としては(2) ずいぶんと乱暴な理屈です。確かに、破壊なしには創造し得ないものというのがありますし、創造が結果として破壊してしまうものもあるでしょう。が、これは両者がイコールであるということとは違います。冬が来なければ春が来ないからといって、冬こそが春である、という理屈にはならないのと同じことです。

にもかかわらず、「破壊こそが創造である」という強引な理屈を、あたかも創造の真理であるかのように見なす現代美術に特有の価値観は、ピカソ芸術の破壊性とその思想的基盤となったニーチェの哲学によって確立されたものということができます。

こうしたピカソの破壊的な性向は、作品制作にとどまらず彼の対人関係、とりわけ女性関係においても発揮され、時に相手の人格までを崩壊させてしまうような、(3) 激烈な愛憎関係を再生産していくこととなります。

ピカソの女性遍歴はよく知られています。

正式に結婚した相手は二人ですが、何人もの同棲相手と無数の恋愛相手があり、彼のそうした女性関係のみを主題にした書物も多く出版され、ドキュメンタリーや映画までが制作されています。

ピカソ自身「私は妻を替えるたびに、前の妻を焼いてしまわなければならない。私が若さを失わないでいられるのもそのせいだろう」と語っており、妻への貞節を誓う夫婦

関係や相手に行動を束縛されるような恋愛関係を嫌っていました。

相手に魅力を感じなくなるとさっさとその女性の元を去ってしまい、新たに関係を持った女性に、自分が捨てた女性が苦しんでいるさまを得意げに話したといいます。そうした錯綜した関係を通じてピカソは、自分が関係を結んだ女性の内面をさらけだし、その内臓までをえぐり出すような肖像画を生み出していくこととなります。作品の破壊性が私生活を侵食し、その人間関係の葛藤が次なる破壊的な作品の契機となるという、いわば破壊のスパイラルのような構造が、ピカソの人生と芸術を支配しているのです。

ピカソの最初の妻オルガの息子ポールの娘マリーナは、ピカソを「人間の苦悩の熱狂的なファン」と評しています。自分の孫娘にこうした言葉で形容される祖父というのは、いったいどのような人格の持ち主だったのでしょうか。(中略)

ピカソとの間に二児をもうけたフランソワーズ・ジローは、ピカソをめぐる女性たちの中でただ一人、自分の意志で彼の元を去った女性として知られています。

二十一歳の時に六十二歳のピカソと出会った彼女が、十年の同棲生活を綴った自伝は人間ピカソと画家ピカソ双方への深い理解に裏打ちされたドキュメントとして、ピカソ研究の必携書となっています。

その本の中に、(4) ピカソという人間の本質をうかがわせる言葉があります。

彼女によれば、ピカソは、中がどうなっているか知りたくて、なにもかもばらばらに壊してしまう子供のようなものだというのです。

なるほどそう言われてみると、ピカソ特有のずたずたに切り裂かれた紙細工を思わせる人体の描写や、顔全体が崩れ落ちていくような泣き顔の表現には、子供が中を見たくて分解してしまったおもちゃの惨状に似たものがあります。彼自身、制作はカミソリで切り裂くようなものであるべしと語っていたのは先述の通りです。

大切なおもちゃを壊してしまうという子供の行動は、子供が、「わからない」という感情に耐えることができないことから生じています。

その「わからない」という不満を解消することが、おもちゃそのものを失う結果を招いたとしても、「わかる」という満足を得ることの方を優先してしまうために、夢中になって壊してしまうわけです。そういう意味では、子供じみた好奇心というものの奥底には、破壊に通じかねない暴力性というものが潜んでいることとなります。

童心といえば、その童心を失ってしまった大人には、天使のように無垢で純粋な心を連想させがちですが、時としてその無邪気な好奇心には、破壊的ともいえる感情が潜んでいます。子供が無心に野原に遊ぶ牧歌的な場面も、ひとたび子供が花や虫という生命ある存在を「おもちゃ」とみなしてしまえば、その中を知るためには破壊もいとわれない殺戮の場面へと変貌する可能性を含んでいるわけです。

*ピカソ : Pablo Picasso(1881-1973年)、スペインの画家

(西岡文彦『ピカソは本当に偉いのか?』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1) 破壊的な性向の説明として正しいものはどれですか。

- A ピカソは静物を壊す人の絵を描く。
- B ピカソは気に入らない静物の絵を描く。
- C ピカソは壊れた静物を集めて絵を描く。
- D ピカソは壊れた物を連想させる絵を描く。

問い2 筆者が、下線部(2) ずいぶんと乱暴な理屈と考えるのはなぜですか。

- A 創造の後にしか破壊的な活動はできないから。
- B 破壊をしない時に創造的な活動は行われるから。
- C 破壊と創造が同じ意味であるように見えるから。
- D 現代美術に対して破壊という言葉を用いているから。

問い3 下線部(3) 激烈な愛憎関係の説明として正しいものはどれですか。

- A ピカソは恋愛相手の女性の嫌がることをした。
- B ピカソは別れた女性を後ですばらしいと思った。
- C ピカソは女性と恋愛関係になることを嫌っていた。
- D ピカソは妻を替えるたびに相手から束縛をされた。

問い4 下線部(4) ピカソという人間の本质の説明として正しいものはどれですか。

- A 子供のような心無く、おもちゃが何であるかわからない。
- B 興味のあるものを知るためには、それを壊してもよいと考える。
- C 花や虫という存在をおもちゃだと思ふような無邪気な心を持つ。
- D 不満という気持ちがわからないまま、破壊を描くことができる。

問い5 この文章の内容と合っているものはどれですか。

- A ピカソの芸術は彼の人間関係と深く関わっている。
- B 現代美術の考え方はピカソの価値観に変化をせまった。
- C ピカソの芸術には「わからない」という不満が表現されている。
- D 現代美術は「破壊こそが創造である」という考えを受け入れない。